

Group Game Draft

グループゲームドラフト (GGD) は、多人数で遊ぶ非公認ハウスルールです。
多人数戦の醍醐味とドラフト戦の面白さが一緒に、かつ簡単に楽しめます。

- 人数** 4人。(本来は6人まで参加可能ですが、4人を強く推奨します)
- 準備** 参加するプレイヤーは、それぞれ同じブースターパック4つを持ちます。
席順を決め、車座になって着席します。席順は、そのままターンの進行順になります。
- ドラフト** 通常のドラフトと同様に、パックを開封し出したカードを1枚選んで隣へ渡します。
1、3パック目は時計回り、2、4パック目は反時計回りに回します。
- 構築** 40枚以上のデッキを構築します。基本土地は何枚でも追加して構いません。
デッキに入らなかったカードはサイドボードとなります。

○ゲームプレイ

- ドラフトに参加したプレイヤー全員が1つのテーブルで戦う多人数戦のルールを使います。
- ・初期ライフは20点です。
 - ・1回目のマリガンのみ、7枚引き直せます。2回目以降は1枚ずつ減らして引き直せます。
 - ・第1手番のプレイヤーのドロー・ステップは存在します。(先手ドローは有りです)
 - ・呪文影響範囲ルールは使用しません。
 - ・あなた以外のプレイヤーは、全て対戦相手です。どの対戦相手に対しても攻撃が可能です。
 - ・『無双 (Rumble) ルール』という特別なルールを使用します。
- 他は通常のマジックのゲームと変わりません。

☆『無双 (Rumble) ルール』

無双ルールは、あなたが対戦相手のライフを削れば削るほど有利になるルールです。
「あなたがコントロールする発生源が与えたダメージの結果によって、対戦相手が失ったライフの点数と、あなたのコントロールする呪文や能力の効果によって、対戦相手が失ったライフの点数との合計が20点を越える」ごとに、

「あなたのサイドボードにあるカードを1枚選んで、コマンド領域に置く。そのカードがコマンド領域にある間、あなたはそのカードをマナ・コストを支払うことなくプレイしてもよい。そのカードのマナ・コストに{X}が含まれる場合、あなたはその{X}の部分のコストを通常通りに支払ってもよい。」

というルールです。得点シートの「無双」欄に、失われたライフの点数を加算していくとよいでしょう。

例) Aが《地震》をX=4で唱えた。A,B,C,Dの各プレイヤーは4点のダメージを受けた。

Aは対戦相手のライフを計12点減らしたので、Aの「無双」欄に12点を足して記入する。

「無双」欄に書かれた点が、20点を越えるごとに、そのプレイヤーは、サイドボードにあるカードを1枚選び、コマンド領域に置きます。これは特別な処理で、スタックを用いませぬ。

そのカードは、コマンド領域に置かれている間、そのカードをマナ・コストを支払うことなくプレイしてもかまいません。ただし、通常手札からプレイするのと同様のタイミングでプレイしなくてははいけません。また、キッカー等の追加コストがある場合は、それを支払うことを選べます。

通常、「マナ・コストを支払うことなく唱えてもよい」という効果の場合、マナ・コストに{X}が含まれていると、Xは0しか選ぶことができません。が、『無双ルール』の場合、{X}は好きな数を宣言でき、そしてその{X}のみ支払うこととなります。

例) Aは無双ルールによって《火の玉》をコマンド領域に置いた。Aは自分のターンのメイン・フェイズに、この《火の玉》をX=4、対象を2つにして唱えることを宣言し、追加コストを{1}支払うことにした。Aはこの《火の玉》のコストとして{5}を支払う。

- ゲームの終了** 敗北したプレイヤーはゲームから脱落します。
最後までゲームに残ったプレイヤーが、そのゲームの勝者となります。

4	無双	
	ライフ	
3	無双	
	ライフ	
2	無双	
	ライフ	
1	無双	
	ライフ	